ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

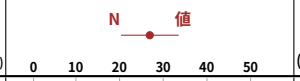
シートNO.

ボーリング名	NO.B-5	調査位置				北　緯	36 ° 51 ' 56.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所　河川砂防部			調査期間	2008-11-07 ～ 2008-11-12	東　経	139 ° 23 ' 17.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	1356.81 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.29 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	1356.56	0.25	0.25		埋土 (FI)	暗褐			上位腐食物混じる。 礫混じり粗砂主体。		
1	1355.31	1.25	1.50		砂礫 (GS)	暗褐灰			礫径10から50mm主体。 間隙は火山灰質粗砂を充填。 コア長5から10cmの玉石を点在。		
2	1353.21	2.10	3.60		玉石混り砂礫 (GS-B)	暗灰			コア長5から32cmの転石主体。 転石は流紋岩質系。 玉石間に礫・砂・粘性土をルーズに充填。 含水比は下位から中位。		11/07
4	1348.52	4.69	8.29		流紋岩 (Ry)	暗緑灰			コア長5から85cm棒状主体。 全体に若干の亀裂入る。 岩質はやや硬い。ハンマーで叩くと重い音がする。 色調は緑灰色主体、所々淡緑灰、紫灰色を帯びる。 6.70から7.10m間、岩片状、礫状コア多い。 7.85mより、礫と粘土状コア多い 含水比は中位から高位。		11/10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	6	8	10	24／30	24
1.45					
2.15	50／8			50／8	>50
2.23					
3.15	8	12	27	47／30	47
3.45					
4.00	50／5			50／5	>50
4.05					
5.00	50／6			50／6	>50
5.06					
6.00	50／8			50／8	>50
6.08					
7.00	35	15／2		50／12	>50
7.12					
8.15	19	31／4		50／14	>50
8.29					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験